

第536回:李鵬長逝

以下はあるコラムからの無断転載である。と云っても、ボクが2010年1月5日、“巨龍のあくび 第41回”に掲載したコラムだから、転載しても引用してもバチは当たるまい。

いまはむかし、20年前(注:1990年)の正月のこと、中国共産党の機関紙・人民日報(海外版)に、一篇の投稿詩が掲載された。アメリカに留学中の朱海洪という青年が新春にあたり祖国の繁栄を祈念して詠んだ愛国の情溢れる漢詩である。

新春、この詩に接した中国の指導者におかれては、さぞやお喜びのことだろうと思っていたら、実はこの作品には恐るべき罣が隠されていた。

元宵	在米留学生 朱海洪	
東風払面催桃李	東風面を払いて桃李を催し	
鷓鴣舒翅展鵬程	鷓鴣翅を舒(ひろ)げて鵬程を展ず	注:鷓鴣=ハイタカ
玉盤照海下熱涙	玉盤海を照らせば熱涙下り	注:玉盤=月影
遊子登台思故国	遊子台に登りて故国を思う	
休負平生報国志	負(そむ)くを休めよ平生報国の志	
人民有我勝万金	人民我有りて万金に勝る	
憤起直追振華夏	憤起し直ちに追え華夏を振るはずを	注:華夏=中国
且待神州遍地春	且(しばら)く待て神州地に遍く春を	

下手な読み下し文で恐縮だが、この律詩を右上の「李」から斜めに読むと、「李鵬下台平民憤」という言葉が浮かび上がってくる。李鵬とは当時の首相であり、「李鵬が失脚(下台)しないと民の怒りが鎮まらない」、つまり前年の6月4日に発生した天安門事件に対する告発書だったのである。

人民日報の編集責任者はこの作品をうっかり掲載してしまい、共産党の宣伝部から大目玉をくったそうだが、プロがこんな罣にコロリと騙されるわけがない。

作者が米国留学中の青年だったかどうかどうかも怪しいものだ。この作品には推敲の跡が随所に見られ、やや伸びやかさに欠けているようだが、これは無理もない。

政治浄化を求める声を圧殺して数多くの犠牲者を生んだ天安門事件に対する言論人たちによる命がけの抗議活動だったからである。

「上に政策あれば、下に対策あり」とは中国で広く人口に膾炙する箴言だが、共産党の弾圧に対し、ペン一本で立ち向かった戯作者の抵抗精神には頭が下がる。

1988年から2003年までの長きにわたり中国の首相及び全人代委員長を勤め、7月22日に90歳で死去した李鵬さんと云えば、この人民日報事件を思い出す。これ、人民日報が騙された可能性は3割、人民日報関係者による“内部犯行”の可能性が7割だと、個人的には思っている。

さて、李鵬死去の報に接した24日の新聞各紙は、次のように報道している。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

日経新聞:天安門事件で弾圧主導、「太子党」保守派の代表格
産経新聞:天安門事件で批判の矢面 総書記の野望果たせず
読売新聞:天安門事件で武力弾圧に関与 保守派の重鎮…強硬派、一党支配を死守
毎日新聞:天安門事件の武力鎮圧主導、強硬派 不人気ぬぐえず

これを見れば、李鵬氏の生涯や評判は一目瞭然、解説は不要でしょう。

1987年、改革派の胡耀邦総書記が保守派から批判され失脚したあと、趙紫陽が後継指名され、天安門事件のときの最高指導部は、①趙紫陽(総書記・68歳)、②李鵬(首相・59歳)、③喬石(規検委書記・62歳)、④胡啓立(中央書記処書記・58歳)、⑤姚依林(副首相・70歳)の5名で構成されていた。年齢は当時。

あのころ垂簾聴政を仕切っていた鄧小平は、趙紫陽と姚依林が引退したあとは、太子党出身の李鵬首相を引き続き No2 として続投させ、No1 の総書記は共青团派のエリート胡啓立を考えていたようだが、天安門事件で、改革派の同氏も失脚してしまい、李鵬に千載一遇のチャンスが廻ってきた。

李鵬は周恩来の養子として育てられ、モスクワにも留学した技術官僚であり、改革派が失脚したあとは、保守派の彼の出番かと思われたが、天安門広場でハンストを続ける学生たちに対し、嗚咽しながら詫びる趙紫陽に比べ、上から目線で学生を見下す李鵬の態度は、あまりに傲岸無礼であり、テレビの実況中継のおかげで、彼の不人気ぶりは一気に全国に広まってしまった。

結句、鄧小平や陳雲など長老連中は、李鵬、喬石、姚依林 3 名の続投を認めたものの、後継候補にすることを諦め、ヒラ政治局委員 13 名のなかで、①天安門事件当時北京におらず、且つ②明らかな保守派でも改革派でもない人物、早いハナシが、毒にも薬にもならぬ人物のなかから選ぶことにして、江沢民・上海市委書記に白羽の矢が立った次第であった。

彼が中国のトップになったとき世界中が驚いたが、一番吃驚したのは本人だった。同氏は天安門事件の直前、理由を告げられないまま突然「北京に出頭せよ」と命ぜられ、顔面蒼白で上京したと云われている。

李鵬は習近平氏と同じ太子党であり、一党支配に拘る保守派として両者の相性は良さそうだが、現実には、李鵬一族の金城湯池である電力業界の利権を巡り、現政権とは激しい駆け引きが続いているようだ。

いずれにしても李鵬は過去の人であり、政治的影響は小さいだろう。現役指導部や引退した長老らが、避暑地に集まり、人事などの重要事項を非公式に話し合う“北戴河会議”が、そろそろ開かれる季節だが、やかましいことばかり云う長老が一人欠けて、ホッとしている指導者がいるかもしれないが。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2019年(令和元年)7月24日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040